



平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について

平成19年度より4月に行われている全国学力学習状況調査について、先日公表されました。

北海道教育委員会では、「全国平均正答率との差が小学校国語B、算数A、中学校数学A・Bの4教科で縮まり、特に中学校の数学においては全国平均との差が1ポイント未満となるなど、改善の傾向が見られるものの、すべての教科において全国平均に届いていない状況にあることから、教育委員会や学校、家庭、地域の連携した取組により、北海道の子どもたちの力をより一層発揮させる必要があると受け止めています。」また、「教育の機会均等という義務教育の趣旨を踏まえ、北海道に住むすべての子どもたちに、社会で自立するために必要な学力を身に付けさせるため、学校、家庭、地域、行政が一体となって進めてきた授業改善と生活習慣の確立に向けた取組を、さらにその質の向上を図りながら組織的に推進することにより、平成29年度には、すべての教科で全国平均以上となるよう、目標の実現に向けて取り組んでまいります。」とコメントしています。

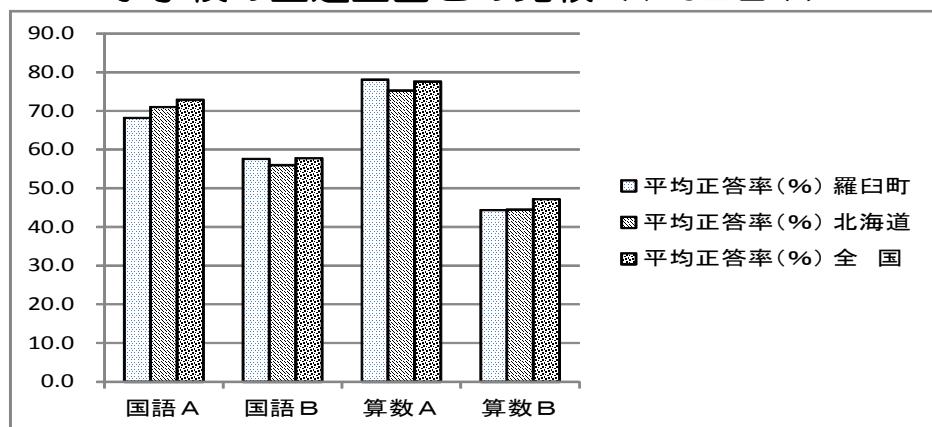
羅臼町の結果も届きましたので、全道・全国との比較として示し、課題や今取り組んでいることをお知らせします。

学力調査の結果

《全国学力調査の内容》

国語A・算数（数学）A問題～「知識」に関する問題
国語B・算数（数学）B問題～「応用」に関する問題

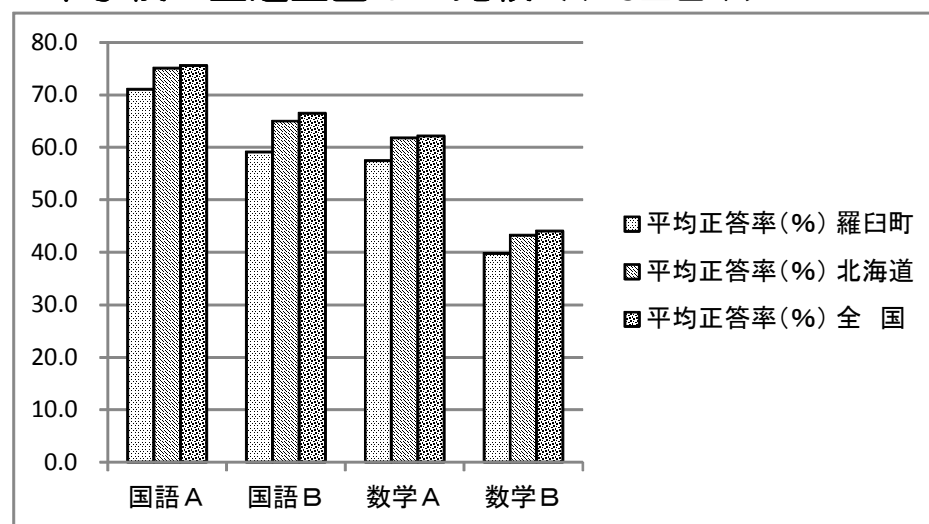
小学校の全道全国との比較（平均正答率）



小学校においては、全道全国との差がかなり縮まってきています。算数Aについては、全国平均以上になっています。

国語Bにおいては、全道平均を上回っています。

中学校の全道全国との比較（平均正答率）



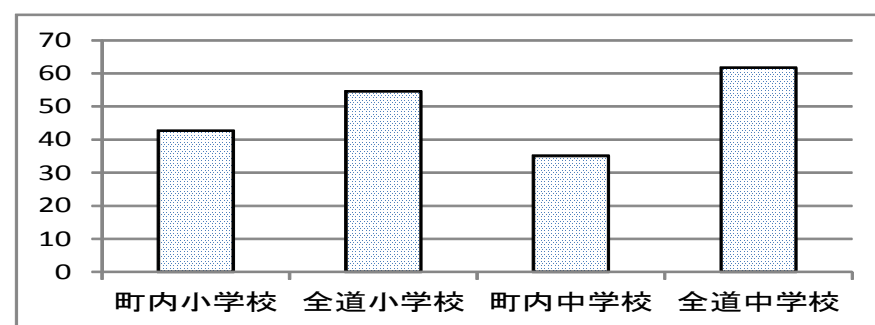
中学校においても、全道・全国との差は縮まりつつあります。

羅臼町の小中学校では、学力テスト終了後に直ちに自校採点と分析を行い、課題がある領域の洗い出しを行うため「学力向上をめざして」というパンフレットを作成しました。作成したものを全教職員に配布し、十分でなかったところの学力の定着に努めています。

また、小中学校では教員の指導力の向上のために定期的に校内での研究授業に教育局の指導主事に来てもらい全員で研修をして、お互いを高める努力をしています。

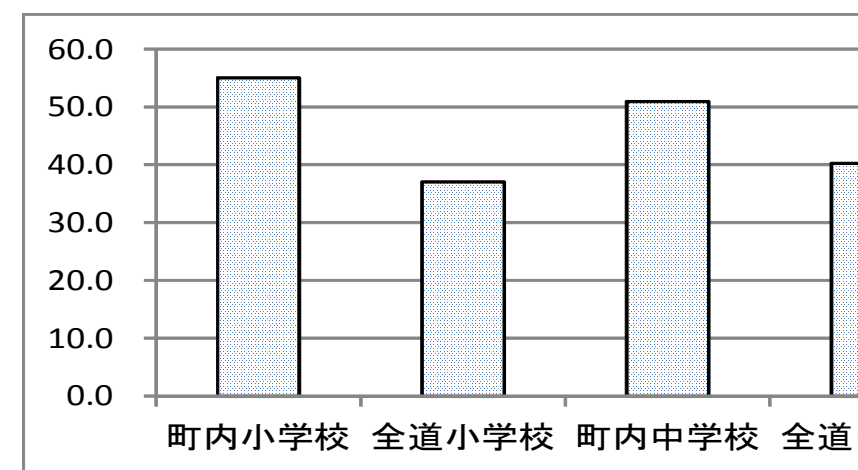
学習状況調査の結果

平日の家庭学習（1時間以上）



家庭学習の時間をみてみると、全道平均は小学校・中学校とも昨年とあまり変わってはいませんが、本町だけみると学習時間が明らかに増えています。このことは、各小中学校において児童生徒に対する家庭学習に向けての指導、及び各家庭でも学校と協力連携した取り組みの成果ではないかと考えられます。今後とも継続した取り組みが、よりよい方向に向かうと考えられます。

テレビゲーム等の時間（2時間以上）

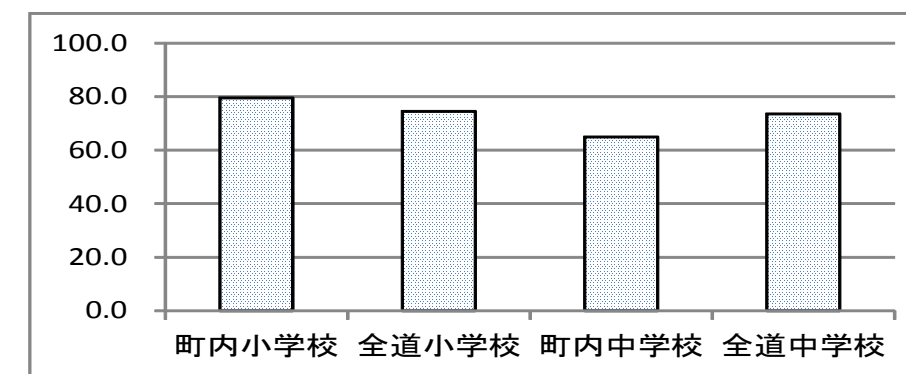


1日のテレビゲーム（パソコン・スマホ含む）の時間は、小学校では、昨年度まで減少傾向にありました。昨年度43.6%、今年度55%と10ポイント以上も増加しています。中学校では、昨年度52.3%、今年度50.9%と若干減少しています。

小学校においては、学習時間・ゲーム時間とも増えている傾向にあります。このことは、1日の生活時間などを見直して見る必要があると考えられます。学習時間・ゲーム時間が増えている分、睡眠時間が少なくなっているのかも知れません。

読書は好きですか。

（「あてはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計）



小学校では、全道を上回っていますが、中学校では少なくなっています。

読書については羅臼町でも力を入れているところですので、是非たくさん本を読んで自分を高めたいと思います。

各ご家庭でも、規則正しい生活習慣やゲーム時間の短縮

・家庭学習時間や読書の時間を増やすなど、子供たちの指導にご協力をよろしくお願いいたします。

大学生といっしょに勉強したよ!

アフタースクール実施

今年度第2回目のアフタースクールが羅臼小学校を会場に実施されました。

アフタースクールは、教育大学釧路校授業開発研究室の協力を得て9月と11月の年2回。今年度は2日間の日程で12日(土)13日(日)に行われました。

大学生は、今回13名で来てくれました。学生たちは、3年生から6年生までそれぞれの学年を3~4名で担当し、授業を実施してくれました。

国語、算数、理科、社会、英語など毎回楽しくわかりやすい授業を考えていただいています。授業で使用する教材についても、すべて手作りできいろいろと考えて用意いただいています。今回参加した子どもは、1日目23名、2日目17名延べ40名でした。参加した子どもたちからは、とても楽しかったとの感想が寄せられました。

1日目は、開会式を行いその後各学年ごとに教室に分かれて国語、算数、英語などの勉強をしました。2日目も同じように国語、算数、理科、社会の勉強をしました。



来年のカレンダー届きました。

今年も町内のなかよし学級で作成した来年度のカレンダーが羅臼中学校のみなさんから教育委員会に届けられました。

来年は酉年です。かわいい鳥のデザインのカレンダーです。

このカレンダーは、教育委員会内に1年間掲示されます。そのほかにも各学校や町内各所に様々なデザインのものが配られて掲示されます。

機会がありましたらご覧下さい。



おいしい漬け物が届きました。

毎年届けられている漬け物が今年もまた届きました。

この漬け物は、羅臼幼稚園の園児のみなさんと先生方で春に種を植えて育てた大根を漬けたものです。

お昼に早速教育委員会職員でいただきました。

とてもおいしくいただきました。

羅臼幼稚園園児のみなさんありがとうございました。



流行性耳下腺炎(おたふく風邪) 水ぼうそう に注意を!!

町内では、おたふく風邪と水ぼうそうにかかり幼稚園や学校を休んでいる子どもたちが増えています。おたふく風邪の予防は、ワクチンが一番とされています。水ぼうそうは、早期発見早期治療が一番だそうです。

両方ともかかったら幼稚園・学校の登園登校はせず、休養をお願いします。

立教大学と羅臼町のESD連携協定覚書調印式

立教大学ESD研究所(所長:阿部治)と羅臼町(町長:湊屋稔)は、10月25日(火)、羅臼町役場にて、ESD(持続可能な地域の担い手育て)の実証研究を通じ、地域を担う人材を育成し、地域創生に寄与することを目的として、ESD研究連携に関する覚書を締結しました。

この調印式は

●ESDによる地域創生を目的とした大学と自治体の覚書締結は長崎県対馬市続いて全国で2例目となります。

●ESDの実証研究を通じ、地域創生と、地域創生を担う人材育成を目指します。

羅臼に続き11月14日には、静岡県西伊豆町においてもESD連携協定覚書の調印が行われました。今後合同研究等を通じ3市町間の交流も計画されています。

また、調印の締結後26日(水)には、役場の職員や学校の管理職を対象に、立教大学阿部所長による記念講演会が実施され多数の職員が参加しました。



ESD研修会

11月2日に、平成28年3月に文部科学省・日本ユネスコ国内委員会より発行された「ESD(持続可能な開発のための教育)推進の手引(初版)」を用いた研修会が、羅臼町で実施されました。

この研修会は、ACCU(ユネスコアジア文化センター)が文科省より委託を受け、教育委員会と連携して行われた

ものです。
福岡教育大学の石丸哲史教授がE S Dについて大変わかりやすく説明して下さいました。教育関係者など町外の人も含めて15人が参加しました。

